

経済の「みち」 圏央道 ～「人」と「モノ」の流れがスムーズに～



- ▶千葉県内区間 約95kmのうち約8割が開通！
- ▶H29年の本県への観光入込客数は、統計開始以来最高を記録し、圏央道神崎・大栄間の沿線ではH26年に比べ約417万人増加！
- ▶高速バスの新規路線開設！運行本数は20便増加！
- ▶開通後（H25～H30）の本県への物流施設等の立地件数は開通前（H19～H24年）と比べ約2倍増加！
- ▶全線開通による更なる効果が期待されます

県内区間 約95kmのうち約8割が開通



充実する交通ネットワーク

高速バスの運行状況

- ・茂原駅～東京駅間、
- ・大多喜～品川駅・羽田空港間に新規路線開設
- ・高速バス運行本数が開通前と比較し20便増加

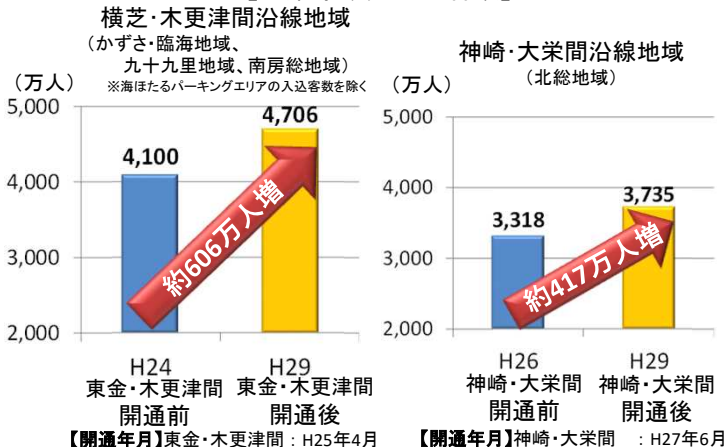


出典:千葉県道路計画課調べ
【開通年月】東金・木更津間: H25年4月

観光客の増加

- H29年の本県の圏央道沿線地域では
- ・横芝・木更津間でH24年から約606万人増加
 - ・神崎・大栄間でH26年から約417万人増加

【千葉県観光入込客数】



企業立地が加速

- ・開通後(6年間)の県内への物流施設等の立地件数は195件で、開通前(6年間)と比較して約2倍に増加
- ・『茂原にはる工業団地』(約19ha)と『袖ヶ浦椎の森工業団地』(約32ha)については、合わせて約98%が順調に売却又は落札 (H30年度末時点)

